

2020 年度

事業報告書

2020 年 4 月 1 日から
2021 年 3 月 31 日まで

公益社団法人日本麻酔科学会

法人の概要

日本麻酔科学会の大きな使命は、安全で質の高い医療を提供するための事業活動を通して、国民の健康と福祉の増進に寄与することである。本学会はこの使命を達成するため、これまで麻酔科専門医の育成や国民への啓発をはじめとする種々の取り組みを行ってきた。2001年に社団法人に、次いで2011年4月1日に公益社団法人に認定され、本学会の社会貢献の役割が更に明確化されたところである。以下の学会理念をもとに各種事業を行う。

1. 役員 (2021年3月31日現在)

理事長 (代表理事) 小坂橋 俊哉 (理事)

常務理事 上村 裕一(理事(副理事長)) 齋藤 繁(理事(副理事長))
足立 健彦(理事) 小澤 章子(理事)

理 事 井関 雅子 伊吹 京秀 近江 禎子 大瀧 千代
大西 佳彦 川口 昌彦 川真田樹人 木下 真弓
小森万希子 重見 研司 恒吉 勇男 中塚 秀輝
廣田 和美 水野圭一郎 溝渕 知司 山内 正憲
横田 美幸

監 事 中尾 慎一 福田 和彦 山本 達郎

代議員 337名 (2020年9月30日現在)

青山 和義	赤田 信二	赤塚 正文	赤松 繁	秋吉浩三郎	浅野 市子	麻生 知寿
足立 健彦	天谷 文昌	新井多佳子	荒川 穰二	飯田 宏樹	五十嵐あゆ子	五十嵐 孝
池田 栄浩	池田 健彦	石川 明子	出田眞一郎	泉 薫	井関 雅子	市川 敬太
伊藤 健二	伊藤 伸子	伊藤 洋	伊東 義忠	稲垣 喜三	伊奈川 岳	稲田 英一
井上 聡己	井上莊一郎	猪股 伸一	伊吹 京秀	伊良波 浩	岩崎 衣津	岩崎 達雄
上野 博司	上山 博史	内田 整	内田 寛治	内田篤治郎	内田 博	内野 博之
内本 亮吾	内山 昭則	宇野 太啓	宇野 洋史	梅垣 修	江木 盛時	枝長 充隆
逢坂 佳宗	近江 禎子	大内 貴志	大下 恭子	太田宗一郎	大高 公成	大瀧 千代
大嶽 浩司	大西 佳彦	大畑めぐみ	岡崎 敦	岡崎 純子	岡本 浩嗣	小川 真生
荻野 祐一	奥田 泰久	奥富 俊之	小倉 信	尾崎 眞	小澤 章子	小田 裕
落合 亮一	小原 伸樹	甲斐 哲也	香川 哲郎	垣花 学	角山 正博	片桐美和子
片山 浩	加藤 孝澄	加藤 道久	加藤 里絵	角谷 仁司	株丹 浩二	上林 卓彦
紙谷 義孝	亀井 政孝	辛島 裕士	狩谷 伸享	川上 裕理	川口 昌彦	川越いづみ
川崎 貴士	川前 金幸	川股 知之	川真田樹人	神田 恵	上村 裕一	菊谷 健彦
岸川 洋昭	木田 景子	北 貴志	北浦 道夫	北川 裕利	北口 勝康	北野 敬明
北村 晶	鬼頭 剛	木下 真弓	金 徹	木村 哲	木村 信行	櫛方 哲也
久米 正記	倉迫 敏明	倉田 二郎	倉橋 清泰	黒澤 伸	小泉有美馨	小坂橋俊哉
小出 康弘	河野 昌史	幸村 英文	小嶋亜希子	小杉志都子	小竹 良文	後藤 隆久
小林 佳郎	小森万希子	小山 薫	近藤 一郎	近藤 修	近藤 竜也	齋藤 繁
斉藤 達志	斉藤 仁志	齊藤 洋司	酒井 陽子	坂口 嘉郎	坂本 篤裕	坂本 三樹
笹川 智貴	定永 道明	佐藤 智行	佐藤 祐子	佐藤 善一	讃岐美智義	佐和 貞治
澤井 俊幸	澤村 成史	志賀 達哉	重松次郎昌幸	重見 研司	設楽 敏朗	篠塚 典弘
柴田伊津子	柴田 康之	渋谷 博美	島崎 睦久	清水 淳	清水 斎	下田 栄彦
生野慎二郎	白石 義人	白神豪太郎	進藤 一男	杉浦 健之	杉田 道子	杉本 清治
杉森 邦夫	杉山 和英	鈴木 昭広	鈴木 健二	鈴木 孝浩	鈴木 健雄	鈴木 武志
鈴木 宏昌	鈴木 康之	角倉 弘行	瀬川 一	關山 裕詩	瀬戸口秀一	芹田 良平
其田 一	祖父江和哉	田家 諭	多賀紀一郎	高石 和	田垣内祐吾	高雄由美子
高岡 誠司	高木 俊介	高木 敏行	高崎 康史	高澤 知規	高田 幸治	高田 基志
鷹取 誠	高橋 完	高橋 麗子	瀧 賢一郎	田北 彰	瀧田 恒一	田口奈津子
竹内 護	武田 吉正	田代 雅文	多田 文彦	多田羅恒雄	田中 克哉	田中 聡
田中 裕之	田中 誠	田中 源重	田中 洋一	田辺久美子	田辺瀬良美	谷上 博信

谷口 巧	谷口 正彦	玉井 久義	田村 高子	杖下 隆哉	辻田 美紀	堤 保夫
恒吉 勇男	角渕 浩央	坪内 宏樹	戸田雄一郎	戸部 賢	富岡 俊也	富田 行成
富安 志郎	外山 裕章	中尾 慎一	長尾乃婦子	中川 博美	長坂 浩	長坂 安子
中島 芳樹	長瀬 清	長田 理	中塚 逸央	中塚 秀輝	中根 正樹	中村 信一
中村 達雄	中山 英人	成田 昌広	成松 紀子	成瀬 睦子	名和由布子	新山 幸俊
仁熊 敬枝	西川 精宣	西田 修	西田 朋代	西部 伸一	西脇 公俊	新田 俊一
野村 実	萩平 哲	橋口さおり	橋口 光子	長谷川麻衣子	馬場 洋	濱田 宏
原 哲也	原武 義和	東 美木子	東みどり子	尾頭希代子	尾藤 博保	平井 裕康
平川奈緒美	平木 照之	廣瀬 宗孝	廣田 和美	深田 智子	深田 祐作	福田 和彦
福田 秀樹	福積みどり	藤野 裕士	藤村 直幸	藤本 一弘	藤原 亜紀	藤原 祥裕
渕上 竜也	保利 陽子	堀口 剛	前川 拓治	間嶋 望	増田 美奈	松川 隆
松田 知之	松永 明	松本 重清	松本 晶平	松本美志也	間宮 敬子	丸山 一男
水野圭一郎	水本 一弘	溝渕 知司	南 敏明	宮田 裕史	村上 衛	室園美智博
望月 利昭	森 隆	森 美也子	森崎 浩	森松 博史	森本 裕二	森山 潔
諸岡 浩明	安田 善一	山内 正憲	山浦 健	山蔭 道明	山口 浩史	山崎 光章
山田 圭輔	山田 徳洪	山田 芳嗣	山本 達郎	山本 洋子	湯浅 晴之	横田 美幸
横山 正尚	吉川 範子	吉田 仁	萬 知子	萬家 俊博	若崎るみ枝	輪嶋善一郎
渡邊 恵介						

2. 事業の概要

本学会は、以下の理念を掲げ事業を行っている。

公益社団法人日本麻酔科学会（以下、本学会という）は、周術期の患者管理を中心としながら、救急医療、集中治療、疼痛管理、緩和医療などの領域において、患者の命を守り、安全で安心できる医療を提供する。

1. 質の高い麻酔科医の育成

質の高い麻酔科医とは、周術期管理、侵襲制御、疼痛管理等において優れた知識と技術、およびコミュニケーション能力を有し、チーム医療を中心的に担える者である。本学会は知識や技術、能力を習得するためソフト面およびハード面を整備し、次世代の日本の医療を十分に担う質の高い麻酔科医を多く育成する。

2. 先進的研究の推進と新たな医療技術の創成

医療において人類の幸福に役立つ新しい知見や技術の創成が重要である。本学会はそのような研究を支援し、得られた発見（知見）や技術、情報を社会に提供する。

3. 麻酔科医療の啓発

国民が安全で安心できる医療を受けるには、国民に対し麻酔科医療に関する正しい知識や認識を提供する必要がある。本学会は広報活動や日常の診療を通じて国民に麻酔科医が担う医療の役割や重要性を啓発し、その認識を普及させる。また、医学生や研修医に対しても麻酔科関連医療の重要性を啓発し、麻酔科専門医の拡充を図る。

4. 他領域との協働

患者中心の安全で質の高い医療を供給するために、本学会は他科の医師や看護師、薬剤師、臨床工学技士などのコメディカルと真のチーム医療として周術期管理チームを組織し、それを実践する基盤を確立する。

5. 国際的な医療連携への貢献

麻酔関連領域における国際的医療水準を高めることは重要である。本学会は世界各国との連携のもとに国際的な医療人の育成や組織作りを推進する。世界麻酔科学会（WFSA）及びアジア・オーストラレーシア地区（AARS）の一員として、とくにアジア地域と人材および知識交流に努める。

3. 事業の区分

理念に基づく事業区分を公益法人申請にあたり、以下の通りとした。

(1) 公益目的事業

公1 麻酔科学の新たな発展のために国内外の先端的研究を奨励・推進・支援し、あわせて国内外の関連学術団体をはじめ関係方面と研究・協力を行い、もって新しい技術と正しい知識の普及・啓発を図り、その成果を社会に還元する事業（**学術事業・交流事業**）

公2 会員が専門的知識や技術を習得するために、研修及び麻酔科関連業務に関わる医師及び施設の審査・認定を実施し、あわせて麻酔科関連医療に関わる調査および研究の推進を図り、特に麻酔科関連の事故症例の検証により再発防止に努め、もって社会に安全で良質な医療を提供するための事業（**教育事業・安全事業**）

公3 一般市民が安全で安心できる医療を受けるために、医療に関する正しい知識や認識の向上を図り、さらに麻酔科医が担う医療の役割や重要性を啓発し、普及させる事業（**公益事業**）

(2) 収益事業等

収1 医師賠償責任保険の加入仲介事業、所得補償保険の加入仲介事業

収2 展示出展事業

4. 社員総会・理事会報告

第1回 理事会

- | | |
|--------|----------------|
| 1. 日 | 時：2020年4月2日（木） |
| 2. 場 | 所：メール審議で実施 |
| 3. 理 | 事：24名 監事：3名 |
| 4. 出席者 | 者：理事24名 監事3名 |

第2回 理事会

- | | |
|--------|-----------------|
| 1. 日 | 時：2020年4月15日（水） |
| 2. 場 | 所：メール審議で実施 |
| 3. 理 | 事：24名 監事：3名 |
| 4. 出席者 | 者：理事24名 監事：3名 |

第3回 理事会

- | | |
|--------|----------------|
| 1. 日 | 時：2020年5月7日（木） |
| 2. 場 | 所：メール審議で実施 |
| 3. 理 | 事：24名 監事：3名 |
| 4. 出席者 | 者：理事24名 監事：3名 |

第4回 理事会

- | | |
|--------|----------------|
| 1. 日 | 時：2020年6月2日（火） |
| 2. 場 | 所：メール審議で実施 |
| 3. 理 | 事：24名 監事：3名 |
| 4. 出席者 | 者：理事24名 監事：3名 |

第5回 理事会

- | | | |
|--------|-----------------------|-------------|
| 1. 日 | 時：2020年7月18日（土） | 13:00～17:00 |
| 2. 場 | 所：日本麻酔科学会 東京事務局・神戸事務局 | |
| 3. 理 | 事：23名 監事：3名 | |
| 4. 出席者 | 者：21名 監事：3名 | オブザーバー：4名 |

第10回 定時社員総会

- | | | |
|------|-----------------|-------------|
| 1. 日 | 時：2020年8月10日（月） | 14:00～17:00 |
| 2. 場 | 所：神戸ポートピアホテル南館 | ポートピアホール |

3. 社 員 数：337 名
4. 理 事 現 在 数：23 名
5. 理事出席者数：16 名
6. その他出席者数：36 名（うち委任状 130 名，議決権行使書 171 名）

第 6 回 理事会

1. 日 時：2020 年 11 月 27 日（金） 13:00～17:00
2. 場 所：日本麻酔科学会 神戸事務局・WEB
3. 理 事：23 名 監事：3 名
4. 出 席 者：23 名 監事：2 名

第 7 回 理事会

1. 日 時：2021 年 3 月 19 日（金） 13:00～17:00
2. 場 所：日本麻酔科学会 神戸事務局・WEB
3. 理 事：22 名 監事：3 名
4. 出 席 者：22 名 監事：3 名 オブザーバー：1 名

5. 事業報告

（1）公益目的事業

事業区分にある公益目的事業公 1，公 2，公 3 にある事業を組織運営上，委員会に割り振り運営を行っている。

公 1 は，学術事業，交流事業であり担当委員会は，以下の通りである。

- ・学術委員会
- ・国際交流委員会
- ・関連領域検討委員会

公 2 は，教育事業，安全事業であり担当委員会は以下の通りである。

- ・教育委員会
- ・安全委員会
- ・救急心肺蘇生検討委員会

公 3 は，公益事業であり担当委員会は以下の通りである。

- ・広報委員会
- ・麻酔博物館事業検討委員会

（2）収益事業

収 1 は，医師賠償責任保険，所得補償保険の加入仲介事業を実施した。

収 2 は，学術集会開催時に附設展示会を実施した。

（3）管理運営部門

管理運営部門として以下の組織を置き，運営を行った。

- ・総務委員会
- ・財務委員会
- ・倫理委員会
- ・事務局

各委員会の委員長は理事とし，統括として常務理事において運営を行った。以下に各委員会の事業報告の概要を記す。

（1）公益目的事業

＜公 1：学術・交流事業＞

1) 学術委員会（委員長：川真田理事 担当常務理事：上村理事）

【業務内容】

学術委員会は学術事業を担当する。「国内外の先進的研究を奨励・推進・支援し，あわせて国内外の関連学術団体をはじめ関係方面と連携し，新しい技術と正しい知識の普及・啓発を図り，その成果を社会（国民）へ還元する」ことを事業目的とし，中期および短期計画を立案し，その実行にあたる。学術事業戦略は，大きく A. 学術集会運営，B. 機関誌，準機

関誌の発行, C. 麻酔科学用語集の編集・発行に分けられる.

【2020 年度報告】

2020 年度は, 第 67 回学術集会 WEB 開催, 新型コロナウイルス感染症拡大を踏まえた緊急時の年次および支部学術集会運営に関する事項の検討, 第 68 回学術集会一般演題要項の見直しと採否検討, 第 69 回学術集会運営組織体制整いと企画検討, 2021 年度・2022 年度の支部学術集会を WEB 開催とすることを決定, 演題投稿システムの見直しについて検討, 2021 年度受賞学会賞審査, 第 68 回年次学術集会開催 JA シンポジウム内容決定, 学術研究推進助成課題の経過審査, 準機関誌「麻酔」への査読員派遣検討, 機関誌 JA, JACR 発行等を行った.

コロナウイルス感染症の影響で以下事業については計画を変更し, 下記の対応をとった.

- ・第 67 回学術集会の現地開催中止と WEB 配信への開催形式変更, こちらに伴うデータ集約システムと配信システムの開発
- ・2020 年度支部学術集会の開催中止
- ・新しい研究事業保留

★ 委員会開催回数 4 回 (7 月, 9 月, 11 月, 1 月)

2) 国際交流委員会 (委員長: 大瀧理事・担当常務理事: 齋藤理事)

【業務内容】

国際交流委員会は「国際的医療連携への貢献」に関連する交流事業戦略の国際交流部門を担当し, その中期および短期計画を立案, 実行にあたる.

【2020 年度報告】

新型コロナウイルス感染症拡大により予定していた海外会務が WEB 開催または延期となり, 代表者・演者派遣および代表者会議はすべて中止となった.

- ・Euroanesthesia2020

会期変更のうえ会場開催は中止し, WEB 開催となった. 変更後の会期は 2020 年 11 月 28 日～30 日.

- ・17th World Congress of Anesthesiologist

会期を 2021 年に延期し, WFSA Council 2020-2024 の投票は別途 2020 年 9 月にオンライン投票を実施. 齋藤 繁氏が当選した.

また WFSA COMMITTEES 2020-2024 のメンバー選出結果について, 学会推薦者のうち下記の 4 名が各 Committee メンバーに決定した.

- | | |
|-----------------------------------|-------|
| ・Obstetric Anaesthesia Committee | 角倉弘行氏 |
| ・Paediatric Anaesthesia Committee | 蔵谷紀文氏 |
| ・Publication Committee | 山蔭道明氏 |
| ・Pain Management Committee | 天谷文昌氏 |

- ・SOAP (米国産科麻酔学会) ジョイントシンポジウム 2021 年に延期

会期の延期に伴い, 日本麻酔科学会が窓口となつてのジョイントシンポジウム開催は見送ることが決定し, 事業終了とした.

その他, 11 月の韓国麻酔科学会 (KoreAnesthesia2020) へ学会からの推薦演者として白神豪太郎氏を推薦し, 同氏による講演が行われた. 第 68 回学術集会の委員会企画の検討, 英語ホームページリニューアル専門部会にて掲載内容の修正を行った. 第 69 回学術集会の委員会企画について企画案の検討を行った.

★委員会開催数 0 回

3) 関連領域検討委員会 (委員長・担当常務理事: 小澤理事)

【業務内容】

関連領域検討委員会は, 「他領域と協働する医療」に関連する交流事業戦略の関連領域部門を担当し, その中期および短期計画を立案, 実行にあたる. 活動範囲は, 集中治療, 疼痛治療, 緩和医療, 心臓血管麻酔, 産科麻酔など麻酔科関連領域部門との関わりについての

検討である。

【2020 年度報告】

2020 年度は、日本麻酔科学会地域トレーニングサイトでの開催状況についての検討、日本専門医機構におけるサブスペシャリティ連絡協議会の検討、第 68 回学術集会の委員会企画の検討、翌年度事業計画の策定を行った。

★ 委員会開催回数 0 回

＜公 2：教育・安全事業＞

1) 教育委員会（委員長：中塚理事 担当常務理事：上村理事）

【業務内容】

教育委員会は教育事業を担当する。学会理念の 1 項に掲げる「質の高い麻酔科医の育成」のため、認定医・専門医・指導制度および認定病院など教育機関の充実を図る。専門医、指導医および認定施設の認定および更新の審査は明確な基準を設けてこれを行う。高度な知識、判断力、技術を向上、維持するための研修や自己学習の機会を提供する環境を整備する。

また、非会員に向けた教育事業と連携し、多職種への教育普及、認定の実施、関連団体との折衝を実施し、周術期管理チーム医療の確立を目指す。

【2020 年度報告】

日本専門医機構専門医制度について機構との折衝、研修プログラムの募集・審査についての検討、専門医試験の作成と実施にあたっての COVID-19 対応の検討、機構専門医制度、学会認定制度、学会から機構専門医への移行にあたっての検討、及び検討後の制度の変更、こちらに伴うシステム開発を行い、会員に周知、変更後の制度での運営を実施した。また、第 67 回学術集会での専門医機構認定講習の中止と e-learning での配信、他団体での専門医機構認定講習実施の見送り、症例検討会（マンスリー・関西支部）は中止とした。

★ 委員会開催回数 1 回（6 月）

① 麻酔科認定医 新規審査

2019 年 12 月～2020 年 3 月、2020 年 4 月～7 月、8 月～11 月に認定申請受付が行われ、各申請受付後に書類審査を実施し、認定を行った。

② 麻酔科認定医 更新審査

2020 年 9 月～10 月に認定申請受付、11 月～2 月に書類審査を実施し、更新認定を行った。

③ 麻酔科指導医 新規審査

2020 年 9 月～10 月に認定申請受付、11 月～2 月に書類審査を実施し、認定を行った。

④ 麻酔科専門医 新規審査

2020 年 5 月～6 月に認定申請受付、7 月～8 月に書類審査を行い、10 月に試験を行った。

⑤ 機構専門医 更新審査

2020 年 9 月～10 月に認定申請受付、11 月～2 月に書類審査を実施し、日本専門医機構が認定する専門医資格の事前審査を行った。

2) 周術期管理チーム委員会（委員長・担当常務理事：齋藤理事）

【業務内容】

周術期管理チーム委員会では他職種団体と協働して手術室の基礎教育レベルの底上げによる医療安全向上、早期離床の実現を目指し、他職種非会員へ教材提供、セミナー開催を通して教育機会を設け、その効果を筆記試験、継続した講習会受講により認定する。

【2020 年度報告】

・COVID-19 により第 67 回年次学術集会および支部学術集会の現地開催が中止となったことに伴う対応検討、第 13 回周術期管理チームセミナーは、2020 年度支部セミナーは共に中止とし、第 13 回周術期管理チームセミナーについては e-learning 配信を行った。

・次年度の各種セミナーの検討と決定、2021・2022 年度支部セミナーは e-learning 配信と

することを決定

- ・筆記試験問題の検証，本年度試験問題の作成と実施にあたっての COVID-19 対応の検討
- ・周術期管理チーム看護師新規認定審査，周術期管理チーム薬剤師新規認定審査，周術期管理チーム臨床工学技士新規認定審査，周術期管理チーム看護師更新認定審査，周術期管理チーム薬剤師更新認定審査，周術期管理チーム臨床工学技士更新認定審査，周術期管理チーム看護師再認定審査，周術期管理チーム薬剤師再認定審査
- ・各職種の周術期業務の分類をリスト化（認定申請時の職歴分類）
- ・周術期管理チームテキスト第4版（改訂版）を発行
- ・各団体との意見交換

★ 委員会開催回数 0 回，メール持回り審議で検討

⑥ 周術期管理チーム認定資格 新規審査

2020 年 5 月 15 日～6 月 30 日に認定申請受付，7 月～9 月に書類審査，11 月 14 日に筆記試験を行い，看護師，薬剤師，臨床工学技士の新規認定を行った。

⑦ 周術期管理チーム認定資格 更新審査

2020 年 10 月 1 日～11 月 13 日に認定申請受付，11 月～12 月に書類審査を行い，看護師，薬剤師，臨床工学技士の更新認定を行った。

⑧ 周術期管理チーム認定資格 再認定審査

2020 年 10 月 1 日～11 月 13 日に認定申請受付，11 月～12 月に書類審査を行い，看護師，薬剤師の再認定を行った。

3) 特定行為研修管理委員会（委員長：廣瀬 宗孝 担当常務理事：齋藤 繁）

【業務内容】

高度急性期医療における他職種との協働がスムーズに実践できることを目的とし，「日本麻酔科学会特定行為パッケージ研修」を実施する。正しい知識を持った麻酔科専門医の指示により，十分な研修を受けた看護師が特定行為を実施することを実現するため，本学会が指定研修施設となり，本学会認定病院を協力施設とした体制下で研修（本学会が提示する手順書モデルに沿い，各認定病院施設で複数の特定行為研修）を適切に実施し，自立してケアを行える看護師を育成する。

【2020 年度報告】

4 月，10 月に受講者が研修を開始出来るよう，協力施設の受付，受講者申請の受付を行い，審査を行った。E-learning コンテンツ提供企業と連携し，共通科目，区分別科目の教材提供，提供システムの改善点の検討，運営，指定研修施設としての管理事項の検討を行い，協力施設とその指導者に向けてアンケートを実施，今後の検討課題を収集した。

★ 委員会開催回数 1 回（10 月），メール持回り審議で検討

4) 安全委員会（委員長：廣田理事 担当常務理事：小澤理事）

【業務内容】

安全委員会は，麻酔および周術期医療に必要なリスクマネジメントに関する事項について検討する安全事業戦略を担当する。安全な麻酔の施行に必要な調査および情報収集を行い，さらに質の高い安全な麻酔のためのガイドライン作成やマニュアルの策定を主導する。安全事業戦略は，大きく 4 つの部門，統計調査・情報収集部門，麻酔関連機器部門，薬剤および麻酔手技部門，リスクマネジメント部門に分けられる。

【2020 年度報告】

今年度におけるガイドラインの作成進捗は以下の通りである。

- ・術中の心肺蘇生への対応プラクティカルガイドラインを作成中
- ・アナフィラキシーへの対応ガイドライン日本語版を作成中
- ・鎮静に関するガイドライン→安全な鎮静のための提言として作成中
- ・第 4 版医薬品ガイドラインの改訂作業中
- ・周術期禁煙ガイドライン改訂作業中

その他の事業については下記の通りである。

1. 偶発症例（肺塞栓）専門部会，JSA PIMS 周術期情報システム WG 関連
 - ・JSAPIMS のサポートと改良
 - ・肺塞栓調査 2019 年度の集計作業
2. 医薬品適正評価対策専門部会 関連
 - ・レボブピバカイン保険適用申請準備
 - ・アネレム，キシロカインゼリー2% の出荷調整に関する周知
 - ・フィブリノゲン HT 未承認薬・適応外薬に関する要望書の作成
 - ・コロナウィルス（COVID-19）の影響によるロクロニウム製剤，プロポフォール の供給に関する検討
3. ICD 制度協議会運営 WG 関連
 - ・2021 年度開催 ICD（インフュクションコントロールドクター）講習会の申請（承認済み），および 2022，2023 年度の講習会内容についての検討
4. APSF ニュースレター日本語版作成 WG 関連
 - ・APSF ニュースレター日本語版（2020 年 6 月号，10 月号）発刊ならびに Postoperative Recurarization After Sugammadex Administration Due to the Lack of Appropriate Neuromuscular Monitoring: The Japanese Experience（Tomoki Sasakawa, MD, PhD; Katsuyuki Miyasaka, MD, PhD; Tomohiro Sawa, MD, PhD; Hiroki Iida, MD, PhD）投稿（2020 年 6 月号）
5. 産科麻酔・無痛分娩に関する検討 WG 関連
 - ・無痛分娩関連学会・団体協議会（JALA）における E-learning 講習会（カテゴリーA, B, D）の作成
 - ・日本産科麻酔学会と日本周産期麻酔科学会における教科書作成，試験，認定制度の調整
6. CCP 専門部会 関連
麻酔科学会会員関連の医事紛争終了事案調査等
7. その他
 - ・第 67 回学術集会委員会企画の中止，第 68 回学術集会の委員会企画の検討

★委員会開催回数 0 回

<公 3：公益事業>

1) 広報委員会（委員長：川口理事 担当常務理事：足立理事）

【業務内容】

広報委員会は公益社団法人としての本学会の目的を念頭に置き，本学会の活動を広く社会及び本学会会員に広報する普及啓発事業戦略を担当する．本学会の社会的活動の推進を図ることを目的に中期及び短期計画を立案し，その実行に当たる．活動の対象は一般社会，各種マスコミ，会員，臨床研修医，医学生，及び関係各省庁に分けられる．

【2020 年度報告】

第 68 回学術集会ならびに第 69 回学術集会の医学生招待計画の検討，メディアからの問い合わせ対応や重要ニュースの掲載，ニュースレターの企画・校正・発刊，毎月のメルマガ配信等を行った．

コロナウィルス（COVID-19）の影響により，第 67 回学術集会の医学生招待企画，近畿麻酔科医界（関西支部）の発行（12 月号から再開），年報（九州支部）の発刊については中止とし，保留としていた麻酔の日のエッセイ募集とポスター作成，手技動画の WG 活動については次年度実施事業として再開した．

★委員会開催回数 1 回（11 月）

2) 麻酔博物館委員会（委員長：伊吹理事 担当常務理事：齋藤理事）

【事業概要】

麻酔に関する資料を収集、収蔵し、麻酔科医ならびに麻酔の歴史を博物館に展示、国民への普及啓発を行う。

【2020 年度報告】

麻酔博物館委員会は、以下の活動を行った。

- ・書籍、文書保存、書籍の整理(棚卸し・製本・不要書籍の廃棄処分) ・麻酔博物館寄贈品の選定と受入れ
- ・2021 年向け博物館改装計画の検討
- ・ISHA 開催に向けてホームページの改訂
- ・ISHA 開催に向けての企画作成
- ・ISHA における青州の里との連携会議の開催

★ 委員会開催回数 2 回(7 月, 11 月) 未完了事項: なし

(2) 収益事業

<収 1>

医師賠償責任保険と所得補償保険の団体加入契約を、損害保険ジャパン日本興亜株式会社、三井住友海上保険株式会社、東京海上日動火災保険株式会社と締結し、その仲介事務事業を行った。

<収 2>

第 67 回年次学術集会開催が COVID-19 の影響により WEB 開催となり、医療機器、医薬品、検査機器、医療情報示説、書籍等を対象として出展を実施できず、本学会は展示小間の提供ができなかった。急遽の変更のため、事前の準備は行われ、該当する支払いの一部は発生している。

(3) その他(管理運営部門)

1) 総務委員会(委員長・担当常務理事: 齋藤理事)

【業務内容】

学会理念達成のため、麻酔科診療発展・医療貢献事業戦略、社会保険における麻酔科診療の評価の見直しおよび麻酔科医の労働環境の改善・整備に関する事業戦略を担当し、学会組織に係わる事項、すなわち組織運営に関する事項、会則検討に関する事項を担当する。また、教育事業ともなる周術期管理チーム認定制度運営に関し、他団体連携の管理を行いつつ、渉外活動を担当する。あわせて、周術期特定行為研修事業の取りまとめを担当する。

【2020 年度報告】

社会保険部会では、次年度企画、さらにその翌年度企画の検討、供給停止予定品目の検討、令和 4 年度診療報酬改定に向けた要望項目の整理、申請準備を行った。また、医師の働き方改革対応のため、大学病院アンケートの実施した。今年度より周術期特定行為研修のパッケージ研修を開始した。

その他、第 67 回学術集会における総務委員会企画全般の中止、第 68 回学術集会、ならびに第 69 回学術集会の委員会企画検討を行った。

また、2021 年度名誉会員の推薦受付、審査を行い、これとは別に既存の海外功労賞に加え、国内功労賞について検討し、制度化を図った。

★ 委員会開催回数 1 回: (9 月)、メール持回り審議で検討

2) 財務委員会(委員長・担当常務理事: 足立理事)

【業務内容】

学会理念達成のための事業計画遂行には、学会の財務基盤の長期的安定が必須である。財務委員会は適切な事業計画作成を可能とするために、過去の予算案、決算書、財務管理の実績と現状分析、および将来的予測から、正確な資金計画をたてる。学会の円滑な業務執行を可能にするために、健全な財務状況を維持し、地震など災害発生時にも事業継続を可

能とするような計画を立案する。

【2020 年度報告】

2019 年度決算，2020 年度各月月締め決算検討，第 67 回年次学術集会暫定決算について適宜検討，経理承認と必要な確認等を行った。また，コロナウィルス（COVID-19）の影響による財務への影響の検証と検討を行った。

★ 委員会開催回数 3 回（4 月，10 月，3 月），メール持回り審議で検討

3) 倫理委員会（委員長：重見理事，担当常務理事：齋藤理事）

【業務内容】

倫理委員会は，学会理念に基づく事業を遂行する上で問題となる倫理的事項について検討する。学会や会員に関わる倫理的問題が生じた場合，その処分を含む対応について検討する

【2020 年度報告】

「COVID-19 陽性患者もしくは疑い患者に対する手術時の感染対策の調査」「手術制限に関するアンケート調査」「周術期禁煙推進アンケート調査」3 件の倫理審査を実施した。調査特別委員会を 1 件立ち上げた。

★委員会開催回数 0 回

4) 事務局（事務局長・担当常務理事：上村理事）

定款に本学会の事務を処理するために事務局を設置する，と規定されるとともに，事務局長は理事の中から理事会が選任すること，事務長及び所要の職員を置くこと，と規定されている。

【2020 年度報告】

神戸事務所の改装完了，新入会者の審査，2019 年度事業報告，当法人の会議・意思決定に関する原則，WEB 会議システムの導入と新運用ルールについての検討，2020 年度選挙実施等を行った。

★ 委員会開催数 2 回（8 月，3 月）

5) ハラスメント対策室（担当理事：小澤理事）

【業務内容】

組織の運営を円滑にするためのハラスメント防止策を検討する。

【2020 年度報告】

理事に対するハラスメント講習会の実施，ハラスメント外部窓口の開設準備，事例発生時の対応フローの検討，細則変更の検討を行った。

事務局に就業する全員を対象に，ハラスメントのアンケートを実施した。

★委員会開催回数 0 回

6) 利益相反委員会（担当理事：恒吉理事）

【業務内容】

利益相反委員会は，学会理念に基づく事業を遂行する上で問題となる利益相反について検討する。学会や会務に関わる会員および，非会員に利益相反が生じた場合，その処分を含む対応について検討する。

【2020 年度報告】

新規ガイドライン WG の利益相反調査を実施した。

★委員会開催回数 0 回

7) ダイバーシティ推進室（担当理事：近江理事）

【業務内容】

学会の代議員や委員会委員に女性を増やす等の計画・立案・実施・検証を行う。

【2020 年度報告】

アンケート調査を実施し、集計結果の検討を行った。第 68 回日本麻酔科学会学術集会にて結果報告を行うためのシンポジウムを計画した。

★委員会開催回数 0 回

8) COVID-19 対策特別委員会（担当理事：小澤理事）

【業務内容】

COVID-19 への対策について本学会の今後の方針を決定する。

【2020 年度報告】

認定施設への調査を行い、集計し、調査結果を公開・更新した。

★委員会開催回数 0 回

9) オリパラ MCI 委員会（委員長：森崎 浩 担当常務理事小澤理事）

【業務内容】

関連領域検討委員会の活動の一環として、オリンピック・パラリンピック開催に向けた救急・災害医療体制を検討する学術連合体の専門委員会として、麻酔科領域を主とした検討を行う。

【2020 年度報告】

オリンピック・パラリンピックの東京開催延期に伴い、主な活動は保留としながらも組織は継続とした。MCI 手引き日本語版の作成と公開、ならびに英文化と電子版としての学会発行に向けた検討、作成を行った。

★委員会開催回数 0 回

10) その他

【登録・派遣】

日本医師会、日本医学会、厚生労働省医道審議会標榜医審査会、日本専門医機構研修プログラム委員会、日本専門医機構専門医認定・更新部門委員会、外科関連学会協議会、外科系医学会社会保険委員会連合、日本外科系連合学会、日本救急医療財団、日本蘇生協議会、3 学会合同呼吸療法士認定委員会、日本歯科麻酔学会、全国 MC 協議会連絡会世話人会、全国医療安全共同行動、禁煙推進学術ネットワーク、日本医療安全調査機構、肺血栓塞栓症専門分析部会、中心静脈カテーテルに関する専門分析部会、アナフィラキシーに関連した死亡に関する専門部会、医療ガス設備等安全確保に係る問題検討委員会、ISO/TC121 国内委員会、JIS 原案作成委員会委員、人工臓器治療関連学会協議会、臓器移植関連学会協議会、緩和ケア普及啓発事業関連団体協議会、プログラム開発・改訂委員会、研修企画委員会、インストラクター育成委員会、認定委員会、学術委員会、幹事会、WFSA、AARS 等に委員を派遣し、各々の目的と事業に合わせ連携・協力した。

・各種学術集会協賛・後援

関連協力団体の学術集会および講習会、市民公開講座等を協賛・後援を行った。

6. 2020 年度委員会委員等一覧

＜事務局＞担当常務理事：上村 裕一

事務局 長：上村 裕一

事務局 員：足立 健彦 藤野 裕士 森崎 浩

オブザーバー：工藤 一大 白石 義人 多田 恵一 増田 純一

〔ハラスメント対策室〕

室 長：小澤 章子

委 員：濱田 宏

オブザーバー：顧問弁護士

＜ダイバーシティ推進室＞

推進室 長：近江 禎子

副室 長：木下 真弓

室 員：大瀧 千代 藤野 裕士 増田 美奈 山蔭 道明
萬 知子

＜常置委員会＞

【総務委員会】担当常務理事：齋藤 繁

委 員 長：齋藤 繁

副委 員 長：大西 佳彦

委 員 員：竹内 護 田辺久美子 西脇 公俊 廣瀬 宗孝 藤野 裕士
森崎 浩

オブザーバー：鈴木 宏昌

〔社会保険部会〕

部 会 長：森崎 浩

部 会 員：天谷 文昌 岩瀬 良範 上園 晶一 桑内 亜紀 久利 通興
塚田さよみ 寺嶋 克幸 横田 美幸

〔会則検討部会〕

部 会 長：西脇 公俊

部 会 員：鎮西美栄子 前原 康宏 佐和 貞治 松本美志也

〔渉外活動検討部会〕

部 会 長：藤野 裕士

部 会 員：大西 佳彦 落合 亮一 中塚 秀輝 後藤 隆久

オブザーバー：武田 純三 森田 潔

【財務委員会】担当常務理事：足立 健彦

委 員 長：足立 健彦

副委 員 長：多田羅恒雄

委 員 員：白神豪太郎 山田 高成

オブザーバー：小板橋俊哉

【倫理委員会】担当常務理事：齋藤 繁

委 員 長：重見 研司

委 員 員：白石 義人 中川 博美 浅井 隆 山崎 光章

【学術委員会】担当常務理事：上村 裕一

委 員 長：川真田樹人

副委 員 長：小森万希子

委 員 員：天谷 文昌 磯野 史朗 内田篤治郎 岡本 浩嗣
河野 達郎 増井 健一 松本美志也 山蔭 道明

〔第 68 回学術集会実行委員会〕

委員長：廣田 和美
副委員長：齋藤 繁
委員：天谷 文昌 磯野 史朗 垣花 学 川名 信 川前 金幸
 榑方 哲也 澤 智博 角倉 弘行 原 哲也 森本 裕二
 山蔭 道明 萬 知子

◆ 第 68 回学術集会循環ワーキンググループ

WG 長：原 哲也
メンバー：辛島 裕士 田中 克哉 中島 芳樹 平田 直之 山崎 光章

◆ 第 68 回学術集会呼吸ワーキンググループ

WG 長：磯野 史朗
メンバー：浅井 隆 内田 寛治 木山 秀哉 鈴木 昭広 中山 禎人

◆ 第 68 回学術集会神経ワーキンググループ

WG 長：垣花 学
メンバー：内野 博之 河野 崇 榑方 哲也 倉田 二郎 河野 達郎
田辺久美子

◆ 第 68 回学術集会小児・産科ワーキンググループ

小児 WG 長：川名 信
産科 WG 長：角倉 弘行
メンバー：大瀧 千代 小原崇一郎 香川 哲郎 遠山 悟史 長坂 安子
中畑 克俊

◆ 第 68 回学術集会ペイン緩和・局所麻酔ワーキンググループ

WG 長：天谷 文昌
メンバー：井上莊一郎 橋口さおり 服部 政治 山内 正憲 山口 重樹

◆ 第 68 回学術集会救急・ICU ワーキンググループ

WG 長：川前 金幸
メンバー：江木 盛時 片山 浩 志馬 伸朗 祖父江和哉 谷口 巧
升田 好樹

◆ 第 68 回学術集会麻酔科関連－1 ワーキンググループ

WG 長：森本 裕二
メンバー：石川 真士 小原 伸樹 小竹 良文 讃岐美智義 高木 俊一
萩平 哲 増井 健一

◆ 第 68 回学術集会麻酔科関連－2 ワーキンググループ

WG 長：萬 知子
メンバー：小田 裕 佐藤 健治 里元麻衣子 長谷川麻衣子 堀田 訓久
萬家 俊博

◆ 第 68 回学術集会麻酔全般ワーキンググループ

WG 長：澤 智博
メンバー：佐和 貞治 重見 研司 鈴木 健二 高橋 伸二 長瀬 清
中塚 秀輝 新山 幸俊 水原 敬洋

◆ 第 68 回学術集会 Medically Challenging Cases ワーキンググループ

WG 長：山蔭 道明
メンバー：青山 和由 浅井 隆 天谷 文昌 内田 寛治 江木 盛時
小田 裕 小原 伸樹 河野 崇 榑方 哲也 蔵谷 紀文
末廣 浩一 角倉 弘行 平田 直之 堀田 訓久 増井 健一

〔学術研究審査委員会〕

委員長：山蔭 道明
委員：浅井 隆 磯野 史朗 垣花 泰之 川股 知之 櫛方 哲也
藤野 裕士 増井 健一 松本美志也

〔麻醉科学用語専門部会〕

部会長：岡本 浩嗣
部会員：江木 盛時 小竹 良文 鈴木 孝浩 角倉 弘行 益田 律子

〔機関誌専門部会〕

部会長：磯野 史朗
部会員：市瀬 史 井上 莊一郎 垣花 学 川口 昌彦 齋藤 繁
照井 克生 橋本 悟 山蔭 道明

〔Journal of Anesthesia Editorial Board〕

Editor-in-Chief：山蔭 道明
Associate Editor-in-Chief：浅井 隆
Section Editor：浅井 隆 (Airway)
天谷 文昌 (Pain Medicine)
内田 寛治 (Respiratory Medicine)
江木 盛時 (ICU & Emergency Medicine)
小田 裕 (Clinical Pharmacology)
小原 伸樹 (Clinical Monitoring)
櫛方 哲也 (Neuroscience)
蔵谷 紀文 (Pediatric Anesthesia)
末廣 浩一 (Perioperative assessment and management)
角倉 弘行 (Obstetric Anesthesia)
平田 直之 (Cardiovascular Medicine)
廣田 和美 (Clinical Reports)
堀田 訓久 (Regional Anesthesia)
増井 健一 (Statistics)

〔JA Clinical Reports Editorial Board〕

Editor-in-Chief：小田 裕
Section Editor：青山 和由 浅井 隆 磯野 史朗 井上 莊一郎 江木 盛時
垣花 学 川口 昌彦 上村 裕一 齋藤 繁 角倉 弘行
照井 克生 橋本 悟 平田 直之 廣田 和美 山蔭 道明

〔「麻醉」編集会議〕

委員：磯野 史朗 小竹 良文

【国際交流委員会】担当常務理事：齋藤 繁

委員長：大瀧 千代
委員：江木 盛時 辛島 裕士 笹川 智貴 長坂 安子 中澤 春政
オブザーバー：萬 知子

〔英語ホームページリニューアル専門部会〕

部会長：長坂 安子
部会員：浅井 隆 岩崎 肇 假屋 太郎 仙頭 佳起 谷 真規子
中澤 圭介
オブザーバー：萬 知子

◆ SOAP joint 企画ワーキンググループ

WG 長：長坂 安子
メンバー：近江 禎子 大瀧 千代 田中 基 中畑 克俊 萬 知子

【関連領域検討委員会】担当常務理事：上村 裕一

委員長：小澤 章子
委員：井関 雅子 奥富 俊之 川前 金幸 野村 実 橋口さおり

〔集中治療領域検討部会〕

部会長：川前 金幸
部会員：垣花 泰之 中根 正樹 西田 修

〔ペイン領域検討部会〕

部会長：井関 雅子
部会員：安部洋一郎 高雄由美子 濱口 眞輔 平川奈緒美 眞鍋 治彦

〔緩和領域検討部会〕

部会長：橋口さおり
部会員：天谷 文昌 佐藤 哲観 間宮 敬子 山口 重樹

〔救急領域検討部会〕

部会長：小澤 章子
部会員：清水 直樹 武田 吉正 谷口 巧 成松 英智
間瀬 則文 森村 尚登
外部委員：木村 昭夫 坂本 哲也

〔心臓血管麻酔領域検討部会〕

部会長：野村 実
部会員：岡本 浩嗣 小出 康弘 坂本 篤裕

〔産科麻酔領域検討部会〕

部会長：奥富 俊之
部会員：大瀧 千代 加藤 里絵 角倉 弘行 照井 克生 長坂 安子
中畑 克俊

◆ ECC 講習会支部担当責任者ワーキンググループ

WG 長：水本 一弘
メンバー：今泉 均（北海道） 伊関 憲（東北） 高橋 伸二（東京・関東
甲信越） 間瀬 則文（東海北陸） 石川 雅巳（中国四国）
矢野 隆郎（九州）
オブザーバー：田勢長一郎 多田 恵一

◆ 救急救命士の気管挿管実習の現状と今後を考えるワーキンググループ

WG 長：川前 金幸
メンバー：小澤 章子 多田 恵一 西脇 公俊 森崎 浩

【教育委員会】担当常務理事：上村 裕一

委員長：中塚 秀輝
副委員長：恒吉 勇男 溝渕 知司
委員：内野 博之 川股 知之 小出 康弘 鈴木 康之
原 哲也 間宮 敬子
オブザーバー：佐和 貞治

◆ 専門医研修プログラム検討ワーキンググループ

WG 長：上村 裕一
メンバー：足立 健彦 上村 裕一 水本 一弘 山口 重樹

◆ サイトビジット研修プログラム評価制度ワーキンググループ

WG 長：川口 昌彦
メンバー：大嶽 浩司 坂口 嘉郎 間宮 敬子 水本 一弘
オブザーバー：佐和 貞治

◆ CBT ワーキンググループ

W G 長：佐和 貞治

メンバー：江木 盛時 亀井 政孝 恒吉 勇男 寺嶋 克幸

オブザーバー：坂口 嘉郎

〔認定審査委員会〕

委員長：中塚 秀輝

副委員長：内野 博之 鈴木 康之 恒吉 勇男

委員：溝渕 知司

オブザーバー：佐和 貞治

〔第1部会（専門医認定）〕

部会長：恒吉 勇男

部会員：川股 知之 倉橋 清泰 藤野 裕士 山浦 健

オブザーバー：佐和 貞治

（筆記試験）川股 知之（問題作成責任者）

秋永智永子 秋吉浩三郎 今町 憲貴 内田 寛治 江木 盛時

加藤 里絵 河野 達郎 中畑 克俊 新山 幸俊 藤野 裕士

オブザーバー：坂口 嘉郎 佐和 貞治

（口頭試験）木山 秀哉（問題作成責任者）

天谷 文昌 紙谷 義孝 倉橋 清泰 合谷木 徹 小山 薫

橘 一也 森 隆

（実技試験）田中 克哉（問題作成責任者）

興津 賢太 小澤 章子 佐藤 暢一 高雄由美子 高橋 伸二

中本 達夫 原 哲也

〔第2部会（指導医認定）〕

部会長：内野 博之

部会員：川崎 貴士 小出 康弘 多田羅恒雄

〔第3部会（認定医, 認定施設認定）〕

部会長：鈴木 康之

部会員：原 哲也 山内 正憲 萬家 俊博

〔第4部会（研修プログラム認定）〕

部会長：溝渕 知司

部会員：香取 信之 川口 昌彦 鈴木 健二

オブザーバー：佐和 貞治 小森万希子

【安全委員会】担当常務理事：小澤 章子

委員長：廣田 和美

副委員長：山内 正憲 横田 美幸

委員：飯田 宏樹 稲田 英一 佐和 貞治 祖父江和哉 山浦 健

〔偶発症例（肺塞栓）専門部会〕

部会長：廣田 和美

部会員：黒岩 政之 澤 智博 萩平 哲 増井 健一 山内 正憲

横田 美幸

〔医薬品適正評価対策専門部会〕

部会長：山浦 健

部会員：飯田 宏樹 岩崎 達雄 奥田 泰久 北村 晶 西脇 公俊

〔CCP 専門部会〕

部 会 長：横田 美幸

部 会 員：大嶽 浩司 山口 重樹

〔麻酔機器・麻酔手技安全対策専門部会〕

部 会 長：山内 正憲

部 会 員：小竹 良文 佐和 貞治 祖父江和哉

◆ JSAPIMS 周術期情報システムワーキンググループ

W G 長：澤 智博

メ ン バ ー：足立 健彦 讃岐美智義 萩平 哲 増井 健一 水原 敬洋

オブザーバー：横田 美幸

◆ 医薬品ガイドライン改訂ワーキンググループ

W G 長：山浦 健

メ ン バ ー：垣花 泰之 加藤 里絵 川股 知之 合谷木 徹 坂口 嘉郎

鈴木 孝浩 田中 克哉 戸田雄一郎 中島 芳樹 原 哲也

山内 正憲 山口 重樹

◆ ICD 制度協議会運営ワーキンググループ

W G 長：稲垣 喜三

メ ン バ ー：白石 義人 田口奈津子 森本 裕二

◆ アナフィラキシーへの対応ガイドラインワーキンググループ

W G 長：

メ ン バ ー：高澤 知規 原 哲也 光畑 裕正 山浦 健 萬 知子

◆ 鎮静ワーキンググループ

W G 長：横田 美幸

メ ン バ ー：伊藤 健二 大嶽 浩司 小澤 章子 阪井 裕一 渋谷 鉦

原 哲也

外 部 委 員：宮内 靖史

オブザーバー(外部委員)：辻野佳世子

◆ MEP モニタリングガイドライン作成ワーキンググループ

W G 長：川口 昌彦

メ ン バ ー：飯田 宏樹 和泉 俊輔 垣花 学 田中 聡 林 浩伸

福岡 尚和 吉谷 健司

◆ 術中の心肺蘇生ガイドライン作成ワーキンググループ

W G 長：高橋 伸二

メ ン バ ー：小山 薫 加藤 里絵 祖父江和哉 高澤 知規 田中 克哉

篠塚 典弘 矢野 隆郎

◆ APSF ニュースレター日本語版作成ワーキンググループ

W G 長：飯田 宏樹

メ ン バ ー：澤 智博 仙頭 佳起 祖父江和哉 田辺久美子 西川 精宣

藤本 陽平 安田 篤史

【広報委員会】担当常務理事：足立 健彦

委 員 長：川口 昌彦

副 委 員 長：水野圭一郎

委 員：角倉 弘行 讃岐美智義 鈴木 昭広 渋谷 博美

◆手技動画作成検討ワーキンググループ

W G 長：鈴木 昭広

メンバー：川口 昌彦 恒吉 勇男 山内 正憲 讃岐美智義

【麻酔博物館委員会】担当常務理事：齋藤 繁

委員長：伊吹 京秀

委員：上山 博史 近江 禎子 小山 薫 瀬尾 勝弘 高澤 知規

武田 純三 濱田 宏 牧野 洋 水本 一弘

オブザーバー：松木 明知

〔麻酔博物館 館員ボード〕

館長：武田 純三

館員：伊吹 京秀 奥富 俊之 木内 恵子 菊地 博達 釘宮 豊城

齋藤 繁 土手健太郎 牧野 洋 松木 明知

〔ISHA 開催専門部会〕

部会長：齋藤 繁

委員：伊吹 京秀 奥富 俊之 片桐美和子 金子 武彦 菊地 博達

釘宮 豊城 菅井 直介 武田 純三 土手健太郎 中田 善規

牧野 洋 松木 明知

<特 別 委 員 会>

【周術期管理チーム委員会】

委員長：齋藤 繁

副委員長：大瀧 千代

委員：江島 豊 川口 昌彦 川股 知之 川真田樹人 上村 裕一

木山 秀哉 佐藤 健治 重見 研司 廣瀬 宗孝 松本美志也

森崎 浩 山内 正憲

外部委員：荒木 康幸 萱島 道德 北本 憲永 栗田 浩 柴田ゆうか

関谷 秀樹 平野 博美 舟越 亮寛 山本 千恵 横溝 宗子

〔周術期管理チーム認定審査委員会〕

委員長：齋藤 繁

副委員長：上村 裕一 中塚 秀輝

委員：恒吉 勇男 溝渕 知司

外部委員：荒木 康幸 北本 憲永 平野 博美 横田富美子

◆ 周術期管理チーム認定ワーキンググループ

W G 長：上村 裕一

メンバー：木山 秀哉 森崎 浩

◆ 周術期管理チーム試験問題作成ワーキンググループ

W G 長：松本美志也

メンバー：飯田 良司 角山 正博 草間 宣好 小坂 康晴 佐藤 健治

柴崎 雅志 高田 真二 田中 聡 遠山 悟史 成澤あゆ香

丹羽 康則 原 芳樹 平田 直之 古井 郁恵 坊垣 昌彦

松成 泰典 間宮 敬子 簗島 梨恵 矢田部 智昭

外部委員：青木 宏介 荒木 康幸 後藤 悟史 松沼 早苗

◆ 周術期管理チームテキスト作成ワーキンググループ

W G 長：川股 知之

メンバー：河野 達郎 佐藤 暢一 鈴木 孝浩 角倉 弘行 恒吉 勇男

外部委員：柴田ゆうか 高橋 秀暢 吉田 実知

◆ 周術期管理チームセミナーワーキンググループ

WG 長：木山 秀哉

メンバー：上山 博史 小原 伸樹 鎌田ことえ 川股 知之 坂口 嘉郎
鈴木 聡 田村 岳士 長瀬 清 中塚 秀輝

【特定行為研修管理委員会】

委員長：廣瀬 宗孝

責任者：川口 昌彦

委員：大瀧 千代 川真田樹人 後藤 隆久 小森万希子 齋藤 繁
佐藤 暢一 田中 聡 内藤 祐介 長坂 安子 藤野 裕士
藤原 祥裕

外部委員：石橋まゆみ 鈴木敬一郎

【利益相反委員会】

委員長：恒吉 勇男

委員：齋藤 繁 近江 禎子 松本美志也 北野 敬明

【支部委員会】

委員：山内 正憲 川真田樹人 小森万希子 重見 研司 溝渕 知司
中塚 秀輝 恒吉 勇男

【支部運営委員会】

(北海道・東北支部)

支部長：山内 正憲

総務委員：廣田 和美

学術委員：川前 金幸

教育委員：鈴木 健二

広報委員：枝長 充隆

河野 達郎

堀口 剛

斉藤 仁志

山蔭 道明

村川 雅洋

笹川 智貴

森本 裕二

外山 裕章

長尾乃婦子

(東京支部)

支部長：小森万希子

総務委員：稲田 英一

学術委員：井関 雅子

教育委員：上園 晶一

広報委員：大嶽 浩司

委員：落合 亮一

尾崎 眞

鈴木 孝浩

内野 博之

澤村 成史

小竹 良文

萬 知子

森崎 浩

田村 高子

横田 美幸

(関東・甲信越支部)

支部長：川真田樹人

総務委員：岡本 浩嗣

学術委員：磯野 史朗

教育委員：北村 晶

広報委員：北村 享之

木下 真弓

井上莊一郎

小板橋俊哉

小山 薫

後藤 隆久

奥田 泰久

齋藤 繁

山口 重樹

馬場 洋

竹内 護

(東海・北陸支部)

支部長：重見 研司

総務委員：小澤 章子

学術委員：白石 義人

教育委員：飯田 宏樹

広報委員：岡崎 敦

中島 芳樹

藤原 祥裕

鈴木 照

祖父江和哉

西脇 公俊

西田 修

谷口 巧

山崎 光章

(関西支部)

支部長：溝渕 知司

学術委員：上山 博史

教育委員：川股 知之

広報委員：北川 裕利

佐和 貞治

藤野 裕士

委 員：足立 健彦 大西 佳彦 上林 卓彦 川口 昌彦 田中 具治
西川 精宣 廣瀬 宗孝 南 敏明 湯浅 晴之

（中国・四国支部）

支 部 長：中塚 秀輝
総 務 委 員：白神豪太郎
学 術 委 員：齊藤 洋司 堤 保夫 松本美志也
教 育 委 員：田中 克哉
広 報 委 員：萬家 俊博
委 員：稲垣 喜三 内田 博 加藤 道久 鷹取 誠 田中 裕之
仁熊 敬枝 横山 正尚

（九州支部）

支 部 長：恒吉 勇男
総 務 委 員：垣花 学 上村 裕一 北野 敬明 水野圭一郎
学 術 委 員：秋吉浩三郎 原 哲也 平木 照之 山浦 健
教 育 委 員：牛島 一男 川崎 貴士 坂口 嘉郎
広 報 委 員：杉田 道子 平川奈緒美 松永 明

【オリ・パラ MCI 委 員 会】

委 員 長：森崎 浩
委 員：大嶽 浩司 小澤 章子 倉橋 清泰 内野 博之 櫻井 淳

7. 2020 年度関連諸団体委員等一覧

【日 本 医 師 会】

疑義解釈委員会：齋藤 繁

【日 本 医 学 会】

評 議 員：小板橋俊哉
連 絡 委 員：上村 裕一
医学用語連絡委員：岡本 浩嗣
代 委 員：小竹 良文
利益相反委員：萬 知子
第 31 回日本医学会総会学術委員会 U40 メンバー：廣瀬 佳代

【厚生労働省医道審議会標榜医審査会】

部 長 代 理：西脇 公俊
委 員：齋藤 繁 溝渕 知司 廣田 和美 小森万希子
中塚 秀輝 上村 裕一 木下 真弓 近江 禎子

【日本専門医機構基本領域連絡委員会】

委 員：恒吉 勇男

【外科関連学会協議会】

委 員：落合 亮一 齋藤 繁 森崎 浩
懇 談 会：佐藤 哲文 鈴木 宏昌 竹内 護

【外科系医学会社会保険委員会連合】

処 置 委 員 会 委 員：寺嶋 克幸
処置委員会（処置コーディング WG）：澤 智博
検 査 委 員 会 委 員：山本 俊介
検査委員会（生体検査 医療材料 WG）：土井 松幸 山本 俊介
実務委員会委員・手術委員会委員：横田 美幸
手術委員会（コーディング WG）：澤 智博

手術委員会（医療材料・医療機器 WG）：岩瀬 良範
麻酔委員会委員長：山田 芳嗣
麻酔委員会副委員長：横田 美幸
麻酔委員会委員：森崎 浩 岩瀬 良範
総務委員会委員：山田 芳嗣

【日本外科系連合学会】
総務委員：鈴木 宏昌

【日本救急医療財団】
理事：花岡 一雄
心肺蘇生法委員会委員：多田 恵一

【日本蘇生協議会】
理事：小澤 章子
ガイドライン 2020 共同座長：石川 雅巳 加藤 啓一
妊産婦心肺蘇生作業部会員：加藤 里絵 高橋 伸二

【3学会合同呼吸療法士認定委員会】
派遣委員：川前 金幸 中澤 弘一 山田 芳嗣

【日本歯科麻酔学会】
監事：小坂橋俊哉
【全国MC協議会連絡会世話人会】
世話人：多田 恵一

【医療安全全国共同行動】
委員：横田 美幸

【禁煙推進学術ネットワーク】
委員：飯田 宏樹

【日本医療安全調査機構】
委員：廣田 和美

【医療ガス設備等安全確保に係る問題検討委員会】
委員：白石 義人

【ISO/TC121 国内委員会】
委員：山内 正憲 高階 雅紀

【人工臓器治療関連学会協議会】
委員：藤野 裕士

【臓器移植関連学会協議会】
委員：齋藤 繁

【緩和ケア普及啓発事業関連団体協議会】
委員：齋藤 洋司

【日本母体救命システム普及協議会(J-CIMELS)】
プログラム開発・改訂委員会：加藤 里絵 角倉 弘行 田中 基
研修企画委員会：狩谷 伸享
インストラクター育成委員会：中畑 克俊
認定委員会：照井 克生
学術委員会：奥富 俊之 照井 克生

幹 事 会：廣田 和美 高橋 伸二 大瀧 千代 近江 禎子

硬膜外鎮痛急変対応コース部会：部会長 近江 禎子
メンバー 魚川 礼子 狩谷 伸享

【無痛分娩関係学会・団体連絡協議会(JALA)】

有害事象分科会：廣田 和美 奥富 俊之
研修体制分科会：近江 禎子 角倉 弘行 大瀧 千代
情報開示分科会：横田 美幸 川真田樹人

【厚生労働省 研究班（脳死下・心停止下における臓器・組織提供ドナー家族における満足度の向上及び効率的な提供体制構築に資する研究）】

委員：松本美志也

【2020年東京オリンピック・パラリンピックに係る救急災害医療体制検討合同委員会】

委員：森崎 浩 小澤 章子

【日本集中治療学会 サブスペシャルティ専門研修プログラム作成委員会】

アドバイザー：藤野 裕士

【一般社団法人 臨床試験医師養成協議会】

理事：小坂橋俊哉

【World Federation of Societies of Anesthesiologists (WFSA)】

2020年9月任期終了

○Council

Executive Committee：稲田 英一

○Permanent Committees

Constitution Committee：大嶽 浩司

Scientific Affairs Committee：土田 英昭

Educational Committee：横山 正尚

○Specialty Committees

Obstetric Anaesthesia Committee：角倉 弘行

Pediatric Anaesthesia Committee：蔵谷 紀文

○Working Parties

Professional Wellbeing Committee：後藤 隆久

2020年9月～

○Council

Executive Committee：齋藤 繁

Obstetric Anaesthesia Committee：角倉 弘行

Paediatric Anaesthesia Committee：蔵谷 紀文

Publication Committee：山蔭 道明

Pain Management Committee：天谷 文昌

【Asian and Australasian Regional Section (AARS)】

Treasurer：小坂橋 俊哉

9. 事業監査報告書

監 査 報 告 書

公益社団法人 日本麻酔科学会
理事長 小坂橋 俊哉 殿

2021 年 4 月 23 日

公益社団法人 日本麻酔科学会

監 事

中尾 慎一



私は、2020 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日までの 2020 年度における理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以下の方法に基づき、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿及び関連する書類の調査を行い、当該年度に係る計算書類等(貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録)について検討いたしました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為、又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類等の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

監 査 報 告 書

公益社団法人 日本麻酔科学会
理事長 小板橋 俊哉 殿

2021 年 4 月 23 日

公益社団法人 日本麻酔科学会

監 事

福田 和彦 

私は、2020 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日までの 2020 年度における理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以下の方法に基づき、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿及び関連する書類の調査を行い、当該年度に係る計算書類等(貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録)について検討いたしました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為、又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算書類等の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

監 査 報 告 書

公益社団法人 日本麻酔科学会
理事長 小板橋 俊哉 殿

2021 年 4 月 23 日

公益社団法人 日本麻酔科学会

監 事 山本達郎



私は、2020 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日までの 2020 年度における理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以下の方法に基づき、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿及び関連する書類の調査を行い、当該年度に係る計算書類等(貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録)について検討いたしました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為、又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算書類等の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上